

武田薬品への固相トランスフェクション技術移転契約の締結について

株式会社サイトパスファインダー（本社：東京都江東区、社長：藤田芳司、以下CP社）と武田薬品工業株式会社（本社：大阪市、社長：長谷川閑史、以下武田薬品）は、CP社が保有する固相トランスフェクション技術の非独占的实施許諾を含む技術移転契約を締結いたしました。

これに基づき、武田薬品は固相トランスフェクション技術を使用したウルトラハイスループット（超高速処理）スクリーニングの実施が可能になり、同時にCP社のノウハウを取得します。加えて、今後CP社は武田薬品に対して、複数年にわたる技術支援を行ってまいります。

CP社代表取締役社長兼CEOの藤田芳司は、「現在、世界の大手製薬企業・研究機関は384ウエルプレートでのトランスフェクションに取り組んでおりますが、弊社はいち早く、世界最高密度であります1536ウエルプレートでのトランスフェクション技術を確立いたしました。その結果、内外の顧客企業の皆様より、高い信頼性のあるデータとスピードを評価されております。今回の技術移転契約により、武田薬品の創薬研究、特に新しい医薬品創製に貢献できることをうれしく思っています。」と述べています。

CP社は、独立行政法人産業技術総合研究所（産総研）の研究成果を事業化するために2004年12月に設立された産総研技術移転ベンチャーで、トランスフェクション技術を基盤として、医薬品の研究開発に取り組んでいます。